



# Lucie Rie

## A Retrospective

千葉市美術館開館 20 周年記念 没後 20 年  
ルーシー・リー展

2015年 7月7日(火)－8月30日(日)

開館時間 10:00－18:00 (金・土曜日は 20:00 まで)

※入場受付は閉館の 30 分前まで

休館日 8月3日(月)

観覧料 一般 1000 円 (800 円) 大学生 700 円 (500 円) ※小・中学生、高校生、障害者手帳をお持ちの方とその介護者 1 名は無料 ※( ) 内は前売券・団体 20 名以上、および市内在住 65 歳以上の方の料金 ※前売券は、千葉市美術館ミュージアムショップ [6月28日まで]、ローソンチケット [Lコード:33607]、セブンイレブン [セブンチケット]、千葉都市モラルール「千葉みなと駅」「千葉駅」「都賀駅」「千城台駅」の窓口 [8月30日まで] にて販売。 ※親子割引 一般 800 円 (高校生以下のお子様とご一緒に来館の保護者 2 名まで)

主催：千葉市美術館、日本経済新聞社

後援：オーストリア大使館、ブリティッシュ・カウンシル、一般社団法人 日英協会

協賛：大伸社 協力：オーストリア航空、全日本空輸、ルフトハンザ カーゴ AG

展覧会公式サイト lucie-rie.exhn.jp

《ピンク線文鉢》(部分) 1980 年頃 個人蔵 Estate of the artist 撮影：上野則宏

千葉市美術館  
Chiba City Museum of Art

# Lucie Rie A Retrospective



20 世紀を代表するイギリスの陶芸家ルーシー・リー (1902-1995) は、ウィーンの裕福なユダヤ人家庭に生まれました。当時ウィーンでは、画家グスタフ・クリムトや建築家ヨーゼフ・ホフマンに代表される造形芸術の新たな動向が芽生えており、ルーシーもこれらに触れながら育ちます。

ホフマンも教鞭を執ったウィーン工芸美術学校で 1921 年から学び、ここで轆轤の面白さに魅了された彼女は、陶芸家になることを決意します。その後はさまざまな展覧会で活躍し、作家としての地位を確立していくものの、戦争へと向かう時代の中、1938 年、イギリスへの亡命を余儀なくされました。以後 1990 年に病で倒れるまで、半世紀以上にわたりロンドンで制作を続けました。

轆轤によって生み出される優美で緊張感のあるフォルム、象嵌や掻き落としなどによる独自の文様、釉薬のあたたかみのある色調などは、ルーシー・リーならではの造形世界であり、それらの作品が放つ繊細でありながら凛とした存在感は、多くの人々を魅了し続けています。

本展は、ルーシー・リーの没後 20 年を機に、初期から晩年に至る約 200 点の作品で彼女の足跡を辿り、その魅力に迫ろうとするものです。展示作品の大半が日本初公開となるほか、今回新たに発見されたウィーン時代の作品もご覧いただけます。

1.《線文円筒花器》1968 年頃 個人蔵 2.《白釉青線文鉢》1979 年 東京国立近代美術館 3.《線文大鉢》1958 年頃 イセ文化基金  
4.《黄釉線文鉢》1968 年頃 イセ文化基金 5.《繪岩軸鉢》1970 年頃 個人蔵 6.《陶製ボタン》1940 年代 個人蔵  
撮影：上野則宏 (表、2)／大塚孝雄 (1、3、4、6)／伊奈英次 (5) Estate of the artist

## 関連イベント

### ◎ 講演会 (要申込)

「ルーシー・リー・スタイルの形ができるまで」……………メ切：7月8日(水) 必着  
講師：金子賢治 (茨城県陶芸美術館長)  
7月20日(月・祝) 14:00 より (13:30 開場予定) 11 階講堂にて／定員 150 名／聴講無料  
「再現 ルーシー・リーの制作技法について」……………メ切：7月15日(水) 必着  
講師：小山耕一 (陶芸家)  
7月26日(日) 14:00 より (13:30 開場予定) 11 階講堂にて／定員 150 名／聴講無料

### ◎ ワークショップ

「オートクチュールのボタンをつくる」(要申込)……………メ切：7月22日(水) 必着  
オープンを使って焼くことができる陶芸粘土を使い、ボタンをつくります。  
8月2日(日) 14:00 より 11 階講堂にて／定員 20 名／参加費 300 円  
＊当館ホームページで詳細をご確認の上、お申し込みください。

【申込方法】往復はがきに郵便番号、住所、電話番号、氏名、参加希望のイベント名、人数 (2 名までお申込可) を明記の上、〒260-8733 千葉市中央区中央 3-10-8 千葉市美術館 イベント係 までお送りください。＊お申込は、はがき 1 通につき 1 イベント。申込多数の場合は抽選。

### ◎ 市民美術講座

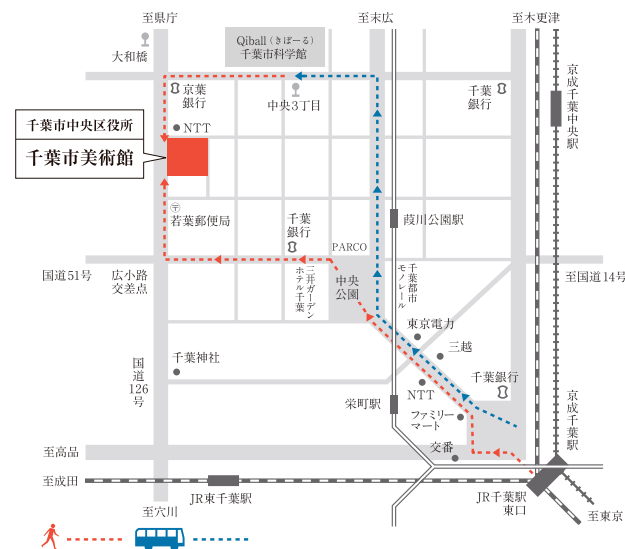
「辰野登恵子 かたちの生成」  
7月18日(土) 14:00 より (13:30 開場予定) 11 階講堂にて／先着 150 名／聴講無料  
講師：葦科英也 (当館学芸課長代理)  
「ルーシー・リーのうつわ」  
8月22日(土) 14:00 より (13:30 開場予定) 11 階講堂にて／先着 150 名／聴講無料  
講師：山根佳奈 (当館学芸員)

### ◎ ギャラリートーク

・担当学芸員によるギャラリートーク 7月7日(水) 14:00 より  
・ボランティアスタッフによるギャラリートーク 会期中の毎週水曜日 14:00 より  
＊水曜日以外の平日 14:00 にも開催することがあります。会場の混雑状況により中止となる場合があります。

### ◎ 特別企画「美術館で縁日気分!!」

「千葉の親子三代夏祭り」にあわせて様々なお楽しみブースを用意します。  
8月16日(日) 13:00～17:00 1 階さや堂ホールにて ＊会場の出入りは自由です。



千葉市美術館 Chiba City Museum of Art 〒260-8733 千葉市中央区中央 3-10-8  
TEL. 043-221-2311 <http://www.ccma-net.jp>

### 【アクセス】

○JR 千葉駅東口より・徒歩約 15 分・バスのりば⑦より京成バス大病院行または南矢作行にて「中央 3 丁目」または「大和橋」下車徒歩約 3 分・千葉都市モノレール県庁前方面行「葭川公園駅」下車徒歩約 5 分 ○京成千葉中央駅東口より 徒歩約 10 分 ○東京方面から車では 京葉道路・東関東自動車道で宮野木ジャンクションから木更津方面へ、貝塚 IC 下車、国道 51 号を千葉市街方面へ約 3 km、広小路交差点近く ○千葉市中央区役所と同じ建物です。 ○地下に区役所と共有の機械式駐車場がありますが、混雑時にはご不便をおかけすることもありますので、公共交通機関でのご来館をお願いします。

同時開催

所蔵作品展「辰野登恵子がいた時代」  
※「没後 20 年 ルーシー・リー展」をご観覧の方は無料

次回展予告

からえ

「唐画もん一武禅に閨苑、若冲も」 2015 年 9 月 8 日(火) - 10 月 18 日(日)